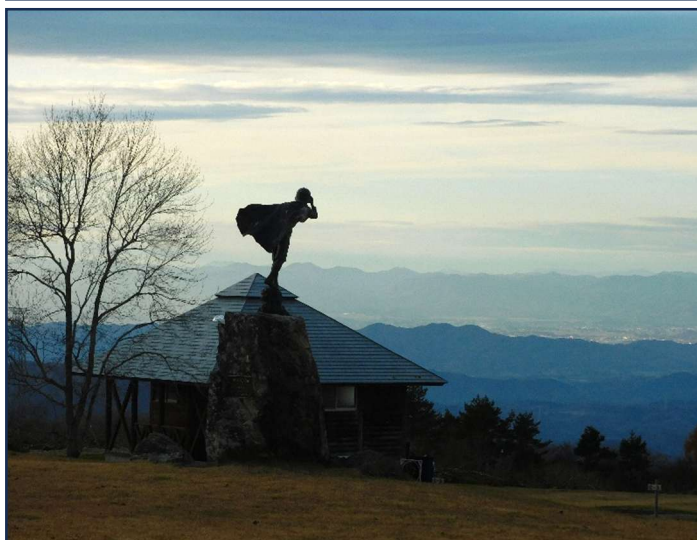
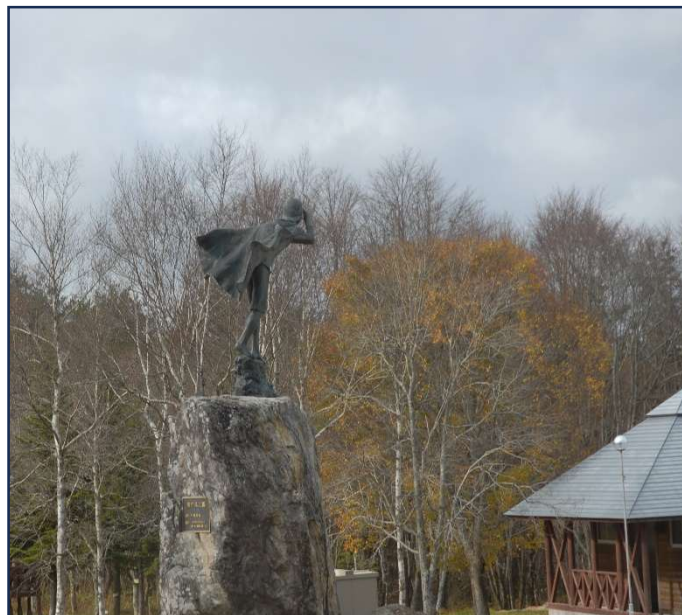


種山ヶ原は今③⑤

見晴しが良くなり「風の又三郎」が喜んでます！

北上平野がきれいに見えるようになりました。 伐採前



星座の森から岩手山も見えるようになり、ベランダから岩手山と早池峰山が見えるコテージが二つあります。予約は早めに。

伐採した林には散策路があり、水芭蕉も咲いています。今年整備するそうです。



雲海



風の又三郎は北を向き



奥羽山脈に夕陽が沈む

『最近の種山ヶ原とその周辺』



大森山

種山ヶ原・物見山



教会の鐘も 120 年になる。一人静かに夕方 5 時に鳴らしています。去年は 364 日。4 時 59 分 20 秒前後にお寺の鐘、間もなくアンジェラスの鐘。5 時地区センターのチャイム。夕方五時の「人首の音の風景。」



「ミレーの落穂拾い」ならぬ「白鳥の落穂拾い」。子供を間において子育て中。飛ぶ時も、親が挟むようにして。



今年は柿が豊作でとてもきれいでした。今も雪をかぶり風情もありますが、子ども達が干し柿を食べないので、誰もとりません。

賢治の歩いた道 そでやま 「外山」

鱒沢駅から種山ヶ原に向うとやがて右は「五輪峠」左は「種山ヶ原」種山ヶ原への途中に「外山部落」がある。そこに学間沢神楽と縁の深い外山神楽がある。

石塔「早池峰大権現」発見！

2022年11月地区民参加による学間沢中心の「藩境塚巡り」の際に「早池峰大権現」が偶然発見された。このことから人首・学間沢地区と早池峰山及び「早池峰神楽」との関りが出て来た。勿論早池峰伊達神楽は以前から色々な行事の時には披露され周知の神楽ではあったが、その歴史についてほとんどの人は分からない。今回それらの事について調べることとなった。

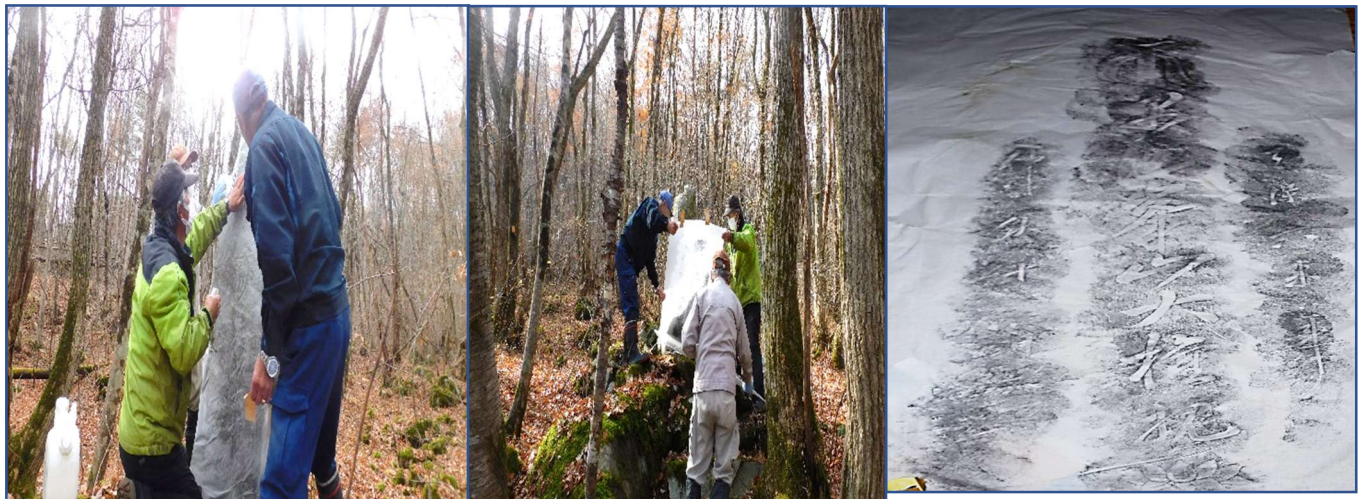
11月22日5人で拓本をとり、利府先生のお力をお借りし、天保年間に建立されたものと分かった。185年もの間人知れずこの林の中に立っていたことになる。ずっと以前から早池峰山に参詣し、長年の講中を記念し建立したのでしょうか。それにしても昔の人は信心深いと感心する。



天保6未年
早池峰大権現

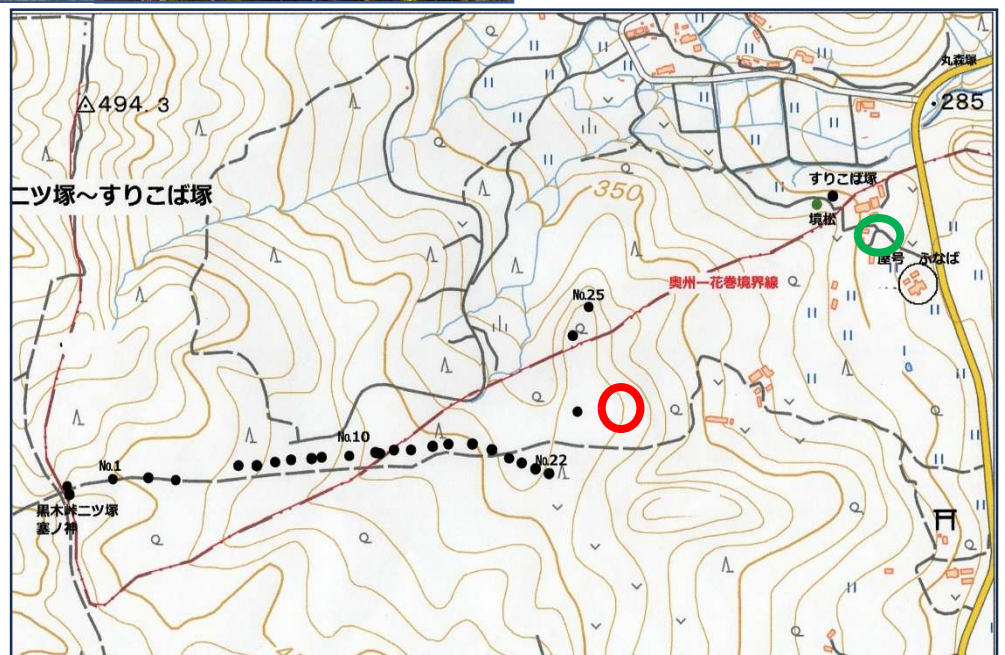
仲秋十八日

施主 善兵衛

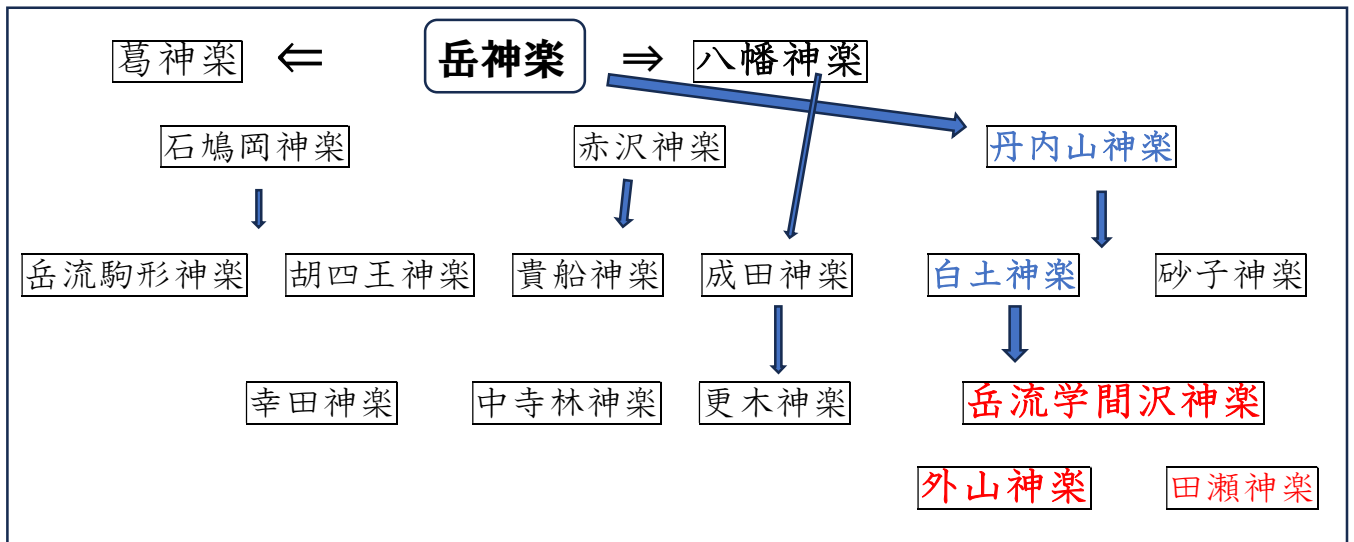


これからの課題

- ① 早池峰山参詣
街道の搜索
 - ② 早池峰神楽の
現状及び米里
との伝承経過
 - ③ 権現様の作製
された年代調査
- 千葉誠美氏宅
〈山林所有者〉
- 早池峰大権現



「早池峰岳神楽」の伝播図 < 中嶋奈津子氏の報告書を参考に概略を作成 >

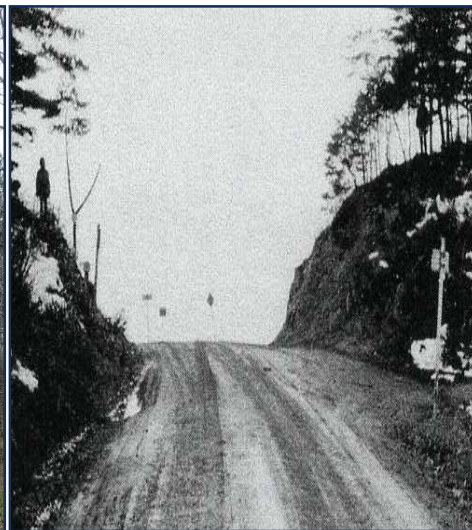


< 岳神楽の流れをくむ神楽集団は 33 もあったらしい >

学間沢の人達の話では、外山神楽は岳流学間沢神楽の流れをくむと伝えられてきたが、中島氏の報告書では白土神楽の流れをくんでいるらしい。《伊達藩の中で早池峰岳神楽の流れをくむ集団は岳流学間沢神楽だけと思われる。白土・学間沢は近隣地で同じ集落のようなもの。江戸時代に南部と伊達に線引きされたに過ぎない。》



現在の五輪峠



昭和 50 年頃の五輪峠



現存する藩境塚



藩境塚調査 この時石塔「早池峰大権現」を見つける。

